

ヤングケアラー実態調査について

1. 目的

国の調査により、ヤングケアラー（家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなど、大人が担うような責任を担っている18歳未満の子ども）が、小学校6年生の15人に1人、中学2年生の17人に1人、全日制高校2年生の24人に1人いることが明らかとなりました。

こうした子どもたちは、友人関係の希薄化、また不登校や、進学や就職を断念するなどの問題が生じやすく、早急な対応が必要となります。

国が令和4年度から3年間をヤングケアラー支援の集中取り組み期間としており、本区でも、区内の実態把握をするとともに、課題の整理と効果的な支援を検討するためにアンケート調査を実施いたします。

2. 児童向けアンケート

- (1) 公立小学校4年生～6年生「毎日の生活についてのアンケート」
公立中学生1年生～3年生「日常の生活実態に関するアンケート」
7月8日、12日校長会にて内容説明
7月中旬 本アンケート調査実施についての保護者向け案内配布
8月中旬～9月10日まで学習用タブレット上より回答

(2) 高校生年齢児

- 令和4年4月1日付で対象者抽出
8月中旬 郵送
9月10日までに、各自スマートフォン、パソコンからWEB回答

3. 関係機関向けアンケート「ヤングケアラーへ対応に関するアンケート調査」

- (1) 関係機関としての対応を回答していただくアンケート
8月中旬 メール等で送付
9月10日までに学校、機関ごとに、WEB回答
- (2) 関係者個人へのアンケート（意識調査）
8月中旬 メール等で送付
9月10日までに各自スマートフォン、パソコンからWEB回答

4. 問い合わせ先

子ども家庭支援センター

子どもの権利第2グループ 03-6858-2302 担当 高井 綱島